

“芸術を核とした住民主役の集落づくり”

真国生活圈(紀美野町)

①真国の現況

【人口】 414人【集落数】 10集落【高齢化率】 55%
 【世帯数】 180世帯(一人暮らし 42世帯)
 【施設】 真国、細野診療所、郵便局、りら創造芸術高等専修学校(生徒35名)、JAながみね旧真国支所、警察駐在所、小学生14名、中学生4名
 【主産業】 農業(米、山椒、柿、梅) 販売農家: 44戸
 耕地面積: 31ha
 (田10ha、果樹園17ha、耕作放棄地3ha)

【鳥獣被害】 イノシシによる被害が大きい
 【特産品】 山椒
 【地域資源】 真国丹生神社(御田の舞)、真国川、ホテルりら創造芸術高等専修学校(世界民族祭会場) 善福寺の榎、不動の滝、天狗岩

【生活環境】
 コミュニティバス 2.5往復/日
 真国診療所 [野上厚生病院より医師を派遣]
 細野診療所 [診療は週1回 真国: 月、細野: 木]
 配食サービス(真国実績無し)
 緊急通報装置等の貸与
 商店3店(生鮮食料品無し)
 移動販売2業者(主に食料品: 週2回)

②真国の課題

1. 住民間の交流機会が減少し活力が低下
 ・地域住民が交流する機会が減少
 ・小学校の統合等により地域の活力が低下

2. 高齢者等の生きがいの場が減少
 ・猪等の鳥獣害が大きく農産物の生産意欲が低下
 ・生産物の販売先が限定されている

3. 地域資源を活用した地域外との交流が希薄
 ・地域外との交流が希薄
 ・地域外からの人を呼び込む取り組みが少ない

③総合対策



〈生活対策〉 7,301千円

○コミュニティの場の創設と運営【真国芸術の郷P】

- ・住民が主体となつての施設改修
- ・複合的施設としての運営
- ・空き家や農作業援助などの情報交換

○「まくにアートカフェ」の運営【真国芸術の郷P】

- ・地域農産物での食事提供、配食サービス
- ・パン工房等と連携した取組を実施

○買い物支援事業【紀美野町】

- ・各世帯の買い物に対する実態調査の実施
- ・調査結果に基づき、買い物対策事業を実施



交流施設候補地



まくにアートカフェ(イメージ)

〈地域活性化対策〉 4,184千円

【生産】

○「まくに農園」の整備【地産地消G】

- ・遊休農地を「まくに農園」として再生
 サツマイモ掘り体験、まくに恋米(鯉米)
- ・鳥獣害対策等により農業生産の拡大

【加工】

○アートカフェで加工品の研究・開発【真国芸術の郷P】

(惣菜、漬け物、コンニャク等)

【販売】

○集出荷サポート等を実施【地産地消G】

- ・「まくにアートカフェ」で地産地消の推進
- ・集出荷サポートによる直販体制の強化
 (和歌山市内の物産販売所、JAとれたて広場)



〈交流対策〉 15,140千円

○「まくに芸術祭」の開催【真国芸術の郷P】

- ・芸術文化の発表(りら創造芸術高等専修学校の協力)
- ・「御田の舞」の復活・伝承
- ・都市住民(若者)との交流

○農業体験ツアー【真国芸術の郷P】

- ・田植え、稲刈り、山椒収穫等の農作業体験
- ・「まくに農園」等で収穫した野菜で調理体験

○まくにサポーターズクラブの創設【真国芸術の郷P】

- ・「芸術祭」や「農業収穫作業」でのまくにのお助け隊

○環境整備【紀美野町】

- ・交流者のための公衆トイレの設置

④目指すべき姿

- コミュニティの場の創設による元気な集落!
- 遊休農地を活用した『まくに農園』で生きがいづくり!
- 芸術祭等による交流人口の増!

【事業期間】 H23.7~H26.6

【事業主体】 真国まちづくり会、真国芸術の郷プロジェクト
 地産地消グループ、紀美野町

全体事業費 26,625千円
 (県 9,741千円)
 (町 14,232千円)
 (国 2,052千円)
 (地元 600千円)